

(コメント)

- ①グループによる「提言」を受けて
- ②JAL・研修全体を受けて

国際日本文化研究センター

江上敏哲

2016.12.8 @JAL2016ワークショップ

自己紹介

- 国際日本文化研究センター
 - 大学共同利用機関のひとつ(文部科学省)
 - 世界の日本研究に対する支援・協力
- 図書館
 - 蔵書 約52万冊
 - 外書(海外で出版された日本研究書)
- 江上敏哲
 - 司書
 - 著書『本棚の中のニッポン』(2012 笠間書院)

2



ORARI DI PARTENZA Gate 9		
7.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	FERIALE
7.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
8.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
8.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
9.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
9.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
10.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
10.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
11.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
11.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	FERIALE
12.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
13.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
14.00	FUMEFREDDO - RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	FERIALE
14.30	BELVEDERE - FLORIDIA - SOLARINO	GIORNALIERO
15.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
16.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
16.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	FERIALE
17.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
18.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
18.30	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
19.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
20.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO
21.00	RECANATI - GIARDINI NAXOS - TAORMINA	GIORNALIERO

25 NOVEMBRE 2016
SCIOPERO NAZIONALE PERSONALE
GRUPPO FERROVIE DELLO STATO ITALIANE

Dalle ore 0.00 alle ore 21.00 di venerdì 25 novembre i treni potranno subire cancellazioni o variazioni, per uno sciopero nazionale del personale del Gruppo Ferrovie dello Stato Italiane. Per i treni a lunga percorrenza è stato predisposto uno speciale programma di circolazione, che comprende e integra i servizi essenziali previsti in caso di sciopero.

Per i treni regionali saranno garantiti i servizi essenziali previsti in caso di sciopero nei giorni feriali dalle ore 6.00 alle ore 9.00 e dalle ore 18.00 alle ore 21.00 (come da Orario ufficiale Trenitalia e www.trenitalia.com). Si prevede inoltre l'effettuazione di ulteriori servizi, con particolare attenzione alle relazioni a maggiore traffico viaggiatori.

L'agitazione sindacale potrà comportare ulteriori modifiche al servizio anche prima dell'inizio e dopo la sua conclusione.

Nel corso dello sciopero sarà garantito il collegamento fra Roma Termini e l'aeroporto di Fiumicino, con il treno "Leonardo Express" o con autobus sostitutivi.

Informazioni: www.fsnews.it, www.trenitalia.com e www.rfi.it, uffici informazioni e assistenza clienti, biglietterie, call-center Trenitalia 89.20.21* e Numero verde 800-892021 (attivo dalle ore 12.00 di giovedì 24 alle ore 23.00 di venerdì 25 novembre 2016).

* da componere senza prefisso. Per accedere da rete fissa va richiesta l'abilitazione permanente al proprio gestore telefonico. Costo da telefono fisso, scatto alla risposta 30 centesimi di euro, costo al minuto 54 centesimi di euro (IVA inclusa). Costo da telefono mobile, in funzione del piano tariffario approvato dal gestore di telefonia mobile.

RFI
TRENITALIA

①グループによる「提言」を受けて

- グッド・ピーターセン・ボスコロ班
「日本から海外へ：日本におけるデジタル化資料をいかにして外国人研究者に伝えるか」
- サロマ・ペトコヴァ・フォルミサノ班
「アートは世界の遺産」
- ウィリアムズ・カネパリー・クロザース班
「日本の文化資源を広めるための協力」

7

言語の壁：英語/ローマ字を！

- 英語/ローマ字は、必須です！
– ユーザは“日本専門家”だけじゃない
 - アブストラクト・メタデータだけでも
 - サムネイル画像も有用
- <e>海外関係者との議論、連携・協力を

8

アクセスはオープンであれ

- <e>「デジタル化」
＝デジタル * オンライン * オープン
- 「館内のみ」「内部者のみ」「日本のみ」・・・
- アブストラクト・メタデータだけでも
- 日本のユーザだって困るはず！

9

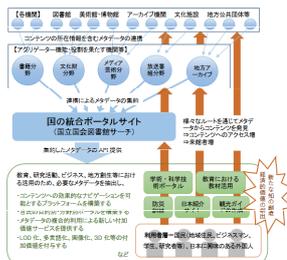
「ポータル」待望論

- 個別に、大量に、散在する、日本のデジタルアーカイブ
- 包括的/効率的な検索・アクセスのために
- 日本語不得手な海外ユーザは困る(言語の壁)
- 日本のユーザだって困るはず！
- 在外日本資料を可視化(ウィリアムズさん)

10

「ポータル」待望論

→<e>内閣府知的財産戦略本部
「デジタル・アーカイブの連携に関する実務者協議会」(2015～)



→詳しくは水谷さん

11

ユーザ・ファーストであれ

- 「複雑なインターフェースは、ユーザをあきらめさせる」(フォルミサノさん)
- Googleでヒットするように
→<e>ユーザの見ている場所へ届けよう
- 若い世代へのアプローチ
– 例：スマホ対応、アプリ作成
– 例：立命館ARCプロジェクトへの学生参加

12

「ユーザ・ファースト」 ×「英語/ローマ字化」

- 「日本美術資料のために、ニューヨーク・メトロポリタン美術館や大英博物館のデジタルアーカイブスをよく使う」(グッドさん)
- 例: Ukiyo-e.org
日本からも複数機関が参加。

13

海外ユーザは、日本の味方

- 「日本を世界に伝える架け橋になる」
 - 海外の日本研究者
 - 日本語を知らなくても、日本資料・情報を求めるユーザ
- 「若者はデジタルでアクセスできないと、日本研究から離れてしまう」
→<e>日本研究の“退潮傾向”
これは日本自身にふりかかる問題

14

デジタル格差が止まらない

- 例: 韓国国際交流財団の資金援助
- 例: SOASデータベースリストにおける中国と日本の差
- <e>例: ディスカバリーシステムで「枕草子」を検索すると、中国語資料が上位を占める
(飯野勝則. 「ウェブスケールディスカバリと日本語コンテンツをめぐる諸課題: 海外における日本研究の支援を踏まえて」. 『カレントアウェアネス』. 2014.9, CA1827)

15

交流・ネットワーク作りと 海外アピール

- 国際会議へ参加しよう
(AAS, CEAL, EAJRS, EAJJS等)
- ワークショップやパネルを開き、PRしよう
- 国際的な雇用、インターン、在外勤務
- トレーニングの出前

16

「人」と「コラボ」

- 「もっと日本人研究者と接する機会やネットワークがほしい」(サロマさん)
- 人的情報(研究者、著作・成果)のオープン化・ポータル化・英語化
- 資金/助成金/プロジェクト情報のオープン化・ポータル化・英語化
- 企業からの資金調達による問題解決

17

ところで、 これらの提言・問題提起は・・・

- 英語/ローマ字化が必要
- オープンアクセスが必要
- ポータルが必要
- 海外ユーザを知ることが必要
- 交流・ネットワーク作りが必要
- コラボレーションが必要

18

ところで、 これらの提言・問題提起は・・・

2015年の公開ワークショップでも・・・
海外の日本司書/研究者に会うたびに・・・

→<e>「また言わせてしまった・・・」
m(__ __)m ごめんなさい

19

②JAL・研修全体を受けて

- 「研修は役に立っているか？」
- “非日常”の効用
↓↑
- 一過性に終わらせないために
 - 次への展開は？
 - 成果を“日常”へ活かしているか？
 - (日本側)受けた「提言」はどのような？

20

提言→反省ループからの脱出

- 2015年 ジョン・ウッドさんの指摘
 - 「Artstor(教育用美術画像データベース)で閲覧できる日本美術作品は、日本国外所蔵のものばかり。日本も参加を」(大英博物館・メトロポリタン美術館など)
→ いまは？
- 「提言」を、誰が？どこで？どう活かせる？
 - 例:「デジタルアーカイブの連携に関する実務者協議会」
- 「交流」のもたらす効果とは？

21

「提言」のための“提言”

- 研修・「提言」自体の“発信力”を高める。
多業種・多方面にこの「提言」を届ける。
- 日本側からの反応を示す。
 - 2015年「応答することの試み」
 - “アンサー・ワークショップ”？
- 実働できる“ポータルな集団”が必要。
 - 国内外で活動・コラボレーション
 - 横断的でワンストップな窓口

22

まとめにかえて 再掲

- Kahlil Gibran 「On Children」より
「あなたの子どもは、あなたの子どもではない」
(Your children are not your children.)
「あなたと共にいるけれども、あなたのものではない」
(And though they are with you yet they belong not to you.)
→<e>日本資料は、日本にあるけれども、
日本だけの独占物ではない。

23